

製品名: GABPA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80661**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	GABPA
別名	NFT2; NRF2
遺伝子 ID	2551.0
SwissProt ID	Q06546
免疫原	大腸菌で発現したヒト GABPA (aa120-190) の精製された組み換え断片。

背景

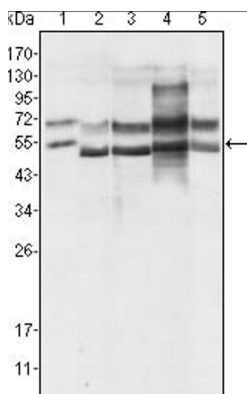
GABPA: GA 結合タンパク質転写因子、 α サブユニット 60kDa。DNA 結合サブユニットとして機能する、3つの GA 結合タンパク質転写因子サブユニットの 1つです。このサブユニットは、核呼吸因子 2 遺伝子をコードするサブユニットと相同性を持つことから、

シトクロム酸化酵素の発現活性化およびミトコンドリア機能の核制御に関与していると考えられます。また、アデノウイルス E4 遺伝子の発現を担う転写因子 E4TF1 を構成するサブユニットとも相同性があります。染色体上に局在し、他のポリペプチドとヘテロ二量体を形成することから、ダウン症候群の表現型に関与している可能性があります。

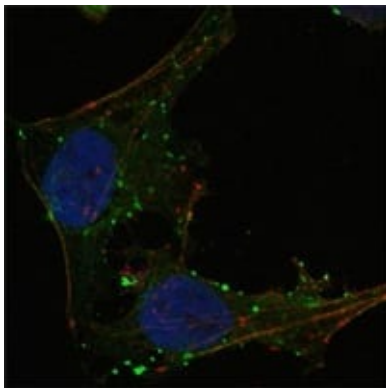
研究分野

-

画像データ



Hela (1)、A549 (2)、MCF-7 (3)、NIH/3T3 (4)、および SMMC-7721 (5) 細胞溶解物に対する GABPA マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



GABPA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 フェロイジンをういて標識したアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。